

錠剤検査機器製造に特化

創業69年の老舗メーカー  
信頼と確かな技術でさらなる挑戦を

林薬品機械



錠剤の厚さ選別機  
錠剤の厚さを一定にし、排出する

林薬品機械（世田谷区船橋、佐野浩清代表取締役社長、03・3302・3277、<http://www.hyk.co.jp>）は、創業から70年弱にわたり、固形製剤の検査、選別、搬送および収納用機械の開発・製造を手がけ、医薬品製造現場の合理化・省力化に尽力してきた。

転シユートを取換えればあらゆる錠型に対応できる。部品交換により、円型錠剤やハードカプセルとの兼用も可能だ。また、錠剤、カプセルなどを前工程機から次工程の高所ホッパへ自動供給・回収する「バケツトリフタ」も主要製品の一つとなっている。

同社の製品は固形製剤の検査機械ではあるが、小型の固形食品などの検査にも応用できるよう改良できる。培ってきた経験に新しい技術を導入し、これからも顧客ニーズに合った製品の開発に、全社員一丸で挑戦し続けていく。

同社の代表的な製品として、糖衣錠やフィルムコート錠などの直径および厚さの大小を自動選別すると同時に、突起・欠け錠などを自動で排除できる「錠剤自動選別機」である。これは直径選別機と厚さ選別機を連結した機械で、平行に設置した2本の選別スクリューの谷部で錠剤を自転させながら選別するため、高い選別精度が得られる。ほかに、錠剤、糖衣錠などの両面のキズ・汚れ・色むらを目視により検査できる「錠剤全数検査機」は、ベルトコンベア式で静音性にすぐれ、錠剤の流れる量・速度が調節できるため検査者の疲労も軽減できるうえ、反



佐野浩清代表取締役社長